

第 40 回あいち学童保育研究集会レポート

【クラブ】（ 風の子クラブ ） 【名前】（ 川原郁美 ）【立場】（保護者 or 指導員）

① 午後に参加した分科会の名称をお書きください。

第（ 3 ）分科会 名称（ 現代の性教育について ）

※午前の全体会のみに参加した場合は、全体会講演の名称をお書きください。

②全体会講演や分科会に参加して、心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

全体会を聞いて最も印象に残ったのは、親心と子どものココロのギャップについてです。子どもでも性自認はそれぞれで、親の「こうあってほしい」「よかれと思って、…」という発言や行動が、気づかないうちに子どもにとって負担になっていることがあるということが印象的でした。これは、親子に限った話ではなく学校の先生、学童保育の指導員などといった大人対子どもで起こりうることだと思います。男女で区別しすぎる呼び方とか、男女で色を分けるとか、「男の子なんだから」「女の子なんだから」とか、他にもいろいろあると思いますが、配慮した言動を心がけようと思いました。

分科会では、現代の子どもたちや若者を取り巻く性教育と性に関する環境について学びました。実践的なものではなく、知識のアップデートを目的とした講義でした。

玉木先生の講義は受けたことがあるので、見たことのある資料ではありましたが、何度見ても日本の性教育や性に関することについての遅れを痛感するものでした。あまりにも生々しいことまで伝えるべきとは思いませんが、子どもがネットや友だち伝いに聞いたりした間違った知識をもって成長してしまうことは怖いので、正しい知識を伝えることが大人の使命だと感じました。

性教育についても、セクシュアルマイノリティについても、無知は罪だと強く思います。自分自身が学んで、正しい知識を身につけて、子どもたちに伝えていきたいと思いません。

※このレポートは、参加されたすべての保護者と指導員にご提出をお願いしています。

※文字数の制限はありません。この用紙に手書きでもかまいませんし、データでお送りいただいてもかまいません。

※×切は 3/20（水）です。指導員に手渡し、または、このアドレス okazakigakudou@yahoo.co.jp にお送りください。

※ご提出されたレポートは、当会のホームページや岡崎がくどうの会だより「よりどころ」に掲載する予定です。